

BPT025-01

会場:102

時間:5月26日 08:30-08:45

旧人・新人時空分布と気候変動の関連性の分析

The effect of climate change on the distributions of Neanderthal and Modern Humans.

米田 穰^{1*}, 阿部 彩子², 小口 高³, 横山 祐典²

Minoru YONEDA^{1*}, Ayako Abe-Ouchi², Takashi Oguchi³, Yusuke Yokoyama²

¹ 東京大学新領域創成科学先端生命科学専攻, ² 東京大学大気海洋研, ³ 東京大学空間情報科学研究センター

¹GSFS, University of Tokyo, ²AORI, University of Tokyo, ³CSIS, University of Tokyo

旧人と新人の交替劇に関して、考古学や人類学の証拠に加え気候変動の影響という新たな視点からも近年議論されている。しかし、両者が進化の過程で経験した気候変動については、長期的かつ地理的多様性に考慮した情報が欠如している。そこで、我々は最新の気候モデルを応用し 20～3 万年前の古気候分布図をユーラシア西半・アフリカを中心に作成し、地球化学指標から得られる地域的かつ急激な気候変動イベントの情報を補完することで、旧人・新人の進化が経験した気候変動を詳細に記述する研究を計画している。さらに、正確な理化学年代に基づいて両者の分布や現代的行動の出現について検討し、気候変動と学習能力の進化の関係について検討する計画である。本研究は平成 22 年度より文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究「ネアンデルタールとサピエンス交替劇の真相：学習能力の進化に基づく実証的研究」の研究計画班として研究を開始したところである。研究の計画と初年度に得られた予備的な結果について紹介し、地球科学諸分野からの意見と批判をお願いしたい。

キーワード: ステージ 3, ネアンデルタール, ホモ・サピエンス, 人類進化, 古気候, 古環境

Keywords: Stage 3, Neanderthal, Homo sapiens, human evolution, palaeoclimate, palaeoenvironment